



日本宝くじ協会助成事業概要のお知らせ

公益社団法人全国少年警察ボランティア協会として、令和元年度の一般財団法人 日本宝くじ協会の助成金を受けて、少年健全育成資料の作成・配布事業を下記のとおり実施いたしました。

記

1 助成事業名

令和元年度健全育成資料（小・中学生用）「健全育成ハンドブック」の作成・頒布
助成事業

2 助成事業者名

公益社団法人 全国少年警察ボランティア協会

3 配布先

47都道府県全国少年警察ボランティア会員、47都道府県小・中学生及び保護者、
全国の図書館、マスコミ、賛助会員、47都道府県小・中学校教職員、全国教育委
員会、当協会主催シンポジウム・研修会・セミナーの参加者等

4 配布数量

小学生用67,500部 中学生用67,500部 合計135,000部

5 助成事業の概要

- (1) 全国の少年警察ボランティアは、各活動地域の小・中学校や地域において、非行防止教室や健全育成講習等を行い、参加する小・中学生、保護者等に対し、子どもに係わる非行や犯罪、危険や被害等の実態とともに、それらを防止するため知っておきたい事柄について説明して訴えかけているが、その際に小冊子をテキストとして、配布しております。

その冊子が、「健全育成ハンドブック」ですが、年齢層（小学生向け・中学生向け）に応じて、身近な題材を取り上げ、平易かつ明快に、説明されており、このため、小学生用67,500部・中学生用67,500部の合計135,000部を作成し、ボランティア活動従業者はもちろん、小中学校関係者等からも高く評価されていることから、小中学生の児童、生徒、保護者、小中学校教職員、そして全国の教育委員会、図書館、新聞社、教育委員会等に配布し全国で活用することとしました。

- (2) 本資料は、牧野カツコお茶の水女子大学名誉教授を責任者とする編集委員会を設け教育、心理、社会学等の分野の学識経験者、小・中学校校長等教育現場責任者のほか、警察庁少年課長、科警研少年研究室長及び少年警察ボランティアなど編集委員9名の参加を得て検討を重ねて作り上げたものです。

- ① 特に、スマートフォン等のインターネット接続機器の不適切な使用による危険性、覚せい剤・大麻等の薬物の危険性と弊害、酒・タバコの危険性のほか、人の心を深く傷つけるいじめを強調しています。
- ② 小学生向け、中学生向けとも、規範意識、ルールの遵守、自分の行為への責任

自覚、相手への思いやり等を強調する記述となっています。

③ 随所に保護者向けアドバイス欄を設けています。

この小冊子の配布を通して、少年警察ボランティアの活動を学校の児童・生徒及び教職員や青少年育成関係者にも広報するとともに、ボランティア自身の認知度アップにもつなげています。

また、事業結果を全少協ホームページ及び機関紙「みちびき」に掲載し、社会に広く少年警察ボランティアの活動を理解してもらうとともに、地域・学校・家庭が一体となり子どもを見守り育てるためのネットワーク作りにつなげているものがあります。

※ 機関紙「みちびき」

年4回（4月、7月、10月、1月）発行している。1回の発行部数は、概ね2万5,000部であります。

- (3) コミュニティサイトの利用に起因する犯罪被害少年数は、平成21年以降、毎年1,000人を超える高い水準で推移しており、その被害事例から見ると、多くの少年がインターネット上で知り会った者と接触することに抵抗を感じておらず、安易な個人情報公開や、相手の求めに応じて少年自身の利用者情報等を外部送信することの危険性に対する認識が希薄であるなど危機的現状にあります。本冊子では、具体時に「安全なインターネットの使い方」「ネットいじめはしない」「使い方をコントロールしよう」「ネットで出会った後は、どうなるか」と題して問題点を取り上げて示すなど、より現状に即した内容として掲載し、末端まで広く配布しました。

6 事業内容についての問い合わせ先

団体名：^{コウエキシヤダシノホウジンゼンコクシヨウネンケイサツ}公益社団法人全国少年警察ボランティア協会^{キョウウカイ}

住所：〒102-0093

東京都千代田区平河町1丁目8番2号 山京半蔵門303号

代表者：^{リョウシヤウチョウ}理事長 ^{ヤマダ}山田 ^{シンキチ}晋作

担当者：^{ジムキョクチョウ}事務局長 ^{タカハシ}高橋 ^{カズホ}和歩

電話番号：03-3239-4970

FAX：03-3556-1133

E-mail：takahashi4089@kih.biglobe.ne.jp

URL：<http://zenshokyo.ecs.or.jp/>

